

平成30年度（2018年度）

豊中市文化芸術推進プラン改訂版に基づく  
施策実施状況

令和元年（2019年）11月

豊中市

# 目 次

ページ

I. 豊中市文化芸術推進プラン改訂版に基づく施策実施状況について	1
II. 推進プラン改訂版について —その経緯と展開—	1
III. 推進プログラムに基づく進捗状況	3
1. 文化芸術活動を担う人材の育成	5
2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進	10
3. 音楽あふれるまちづくりの推進	17
4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進	22
5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実	26

## I. 豊中市文化芸術推進プラン改訂版に基づく施策実施状況について

この報告書は、本市の文化芸術政策の具体的な展開のあり方を示した【豊中市文化芸術推進プラン改訂版】（以下「推進プラン改訂版」という。）の理念のもと、平成 30 年度（2018 年度）の施策実施の状況の把握と評価を行い、本市の文化芸術振興の進捗管理と情報公開、また、今後の展開と事業実施の改善に反映する意図をもって取りまとめるものです。

推進プラン改訂版の背景・政策的な経緯等も整理しながら、各事業に応じた指標に基づく実績を集約するとともに、豊中市文化芸術振興審議会（以下「審議会」という。）による推進プログラムの項目ごとの意見を掲載します。

## II. 推進プラン改訂版について —その経緯と展開—

### 1. 策定の経緯

- 「市民文化を支えるしくみづくり」を掲げて平成 13 年（2001 年）1 月に策定された【第 3 次豊中市総合計画】（以下「第 3 次総合計画」という。）を背景として、平成 18 年（2006 年）4 月に「人と文化を育む創造性あふれるまち」の実現をめざして【豊中市文化芸術振興条例】（以下「文化芸術振興条例」という。）を施行しました。
- 平成 19 年（2007 年）4 月施行の【豊中市自治基本条例】により、総合計画は市政運営の根幹となるまちの将来像を明らかにし、その達成のための施策を総合的、体系的に示すものとして位置付けられるとともに、特定の施策に関する計画の総合計画に適合すべきことを示しました。
- 平成 20 年（2008 年）6 月には、令和 2 年度（2020 年度）までを計画期間として、文化芸術振興条例に基づく文化芸術振興の総合的展開のための施策の方向性を示す【豊中市文化芸術振興基本方針】（以下「基本方針」という。）を策定しました。
- 第 3 次総合計画における「市民文化を支えるしくみづくり」と、基本方針の施策の具体的な推進を企図する【豊中市文化芸術推進プラン】（以下「推進プラン」という。）は、令和 2 年度（2020 年度）までを計画期間として、平成 23 年（2011 年）3 月に策定されます。
- 平成 29 年（2017 年）1 月の文化芸術センターの供用開始を契機とし、また、平成 29 年 6 月施行の【文化芸術基本法】における文化芸術の価値の周辺領域への連関等の新たな観点（注 1）への配慮と併せて、目標年度を前倒しして平成 29 年（2017 年）12 月に策定された【第 4 次豊中市総合計画】に謳う理念「市民文化の創造」に鑑みながら推進プランを見直し、平成 30 年（2018 年）3 月に推進プラン改訂版を策定しました。

なお、旧来の**推進プラン**の計画期間が平成23年度(2011年度)～令和2年度(2020年度)であったことから、現行の**推進プラン改訂版**は、改訂後の残存期間である平成30年度(2018年度)～令和2年度(2020年度)の3か年度を計画期間としています。

(注1)【文化芸術基本法 第2条 10】文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要であることに鑑み、文化芸術の固有の意義を尊重しつつ、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない。

## 2. (仮称) 豊中市文化芸術推進ビジョンを見据えて

既述のとおり、本市の文化芸術にかかる政策的な背景のもと、**基本方針・推進プラン改訂版**のいずれも令和2年度(2020年度)をもって計画期間を終えることに伴い、これらの後継計画として【(仮称) 豊中市文化芸術推進基本計画】の令和2年度(2020年度)末の策定を予定しています。

## 3. 推進プログラム(※推進プログラムの内容・実績等については、次節Ⅲ. に詳述。)

- (1) 文化芸術活動を担う人材の育成
- (2) 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進
- (3) 音楽あふれるまちづくりの推進
- (4) 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進
- (5) 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実

## 4. 取組みの展開

### (1) 推進体制

本プランの進捗に際しては、大学、小・中・高等学校等の教育機関や、市民団体などとの協働・連携に努め、庁内組織の横断的な構成による文化行政推進会議等での検討や、**審議会**における意見などをふまえて、より効果的な展開をめざします。

### (2) 評価と進行管理

推進プログラムごとに細分化した取組み項目の具体的な事業に照応する指標を設定して評価を行い、実績の整理と併せて課題を把握します。

### Ⅲ. 推進プログラムに基づく進捗状況

推進プログラムの内訳と、対応する指標、当該対象事業の構成は、下表のとおり。

推進プログラム		指標	対象事業
1. 文化芸術活動を担う人材の育成 …5 ページ	(1) 文化芸術を支える人材の充実	【指標1.】 市民ホール指定管理者へのボランティア登録者数	サポートクルー養成講座
		【指標2.】 アートマネジメント講座及びレジデントアーティストによるアウトリーチの事業回数	とよなかアーツワゴンの活動
	(2) 次代を担う子どもたちを育む	【指標1.】 該当事業の参加者及び来場者数	音楽コンクール(応募者)、こども音楽フェスティバル、こどもクラシックの日
		【指標2.】 該当事業の延べ参加校・園数	ホールでオーケストラ、小学校アウトリーチ事業、サウンドスクール(小・中学校)、サウンドスクール(こども園)、教育美術展、高校生軽音楽フェスティバル
2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進 …10 ページ	(1) 文化芸術活動への支援	【指標1.】 文化芸術活動報奨金の支給団体・個人の件数	文化芸術活動報奨金制度
		【指標2.】 文化芸術振興助成金の予算に対する支給額割合	文化芸術振興助成金制度
	(2) 大学等との連携の推進	【指標1.】 大学や市民団体等との連携の事業数	市文化芸術祭、市美術展、まちなかクラシック、大阪大学総合学術博物館企画展、大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画事業、伝統芸能館まつり、世界の楽器と音楽、世界の庄内音楽ワークショップ・音楽祭、音楽コンクール、こども音楽フェスティバル、サウンドスクール(小・中学校)、サウンドスクール(こども園)、こどもクラシックの日
	(3) 企業等との連携の推進	【指標1.】 事業者からの寄付件数	文化芸術振興基金
(4) 都市間の連携の推進	【指標1.】 連携事業を行っている自治体数	就航都市文化交流事業、豊中まつり	
3. 音楽あふれるまちづくりの推進 …17 ページ	(1) 音楽事業の一層の推進	【指標1.】 参加者及び来場者数	音楽コンクール(再掲)、こども音楽フェスティバル(再掲)、まちなかクラシック(再掲)、ホールでオーケストラ(再掲)、市文化芸術祭(再掲)、世界の庄内音楽ワークショップ・音楽祭(再掲)、セイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコンサート、邦楽鑑賞会、大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画事業(再掲)、高校生軽音楽フェスティバル(再掲)、サウンドスクール(小・中学校/再掲)、サウンドスクール(こども園/再掲)、市共催の市民ホール指定管理者音楽鑑賞事業
4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進 …22 ページ	(1) 他分野と連携したさまざまな課題への取組みの推進	【指標1.】 教育や福祉等の分野と連携した社会的包摂や地域活性化等の事業数	きむらとしろうじんじん野点(のだて)、ホールでオーケストラ(再掲)、世界の庄内ワークショップ・音楽祭(再掲)、文化芸術振興助成金(再掲)、小学校アウトリーチ事業(再掲)
	(2) 音楽以外の基軸の確立	【指標1.】 音楽以外の文化芸術分野における事業数	市所蔵作品展、市民ギャラリー特別企画展、市文化芸術祭(再掲)、市美術展(再掲)、大阪大学総合学術博物館企画展(再掲)、伝統芸能館まつり(再掲)、きむらとしろうじんじん野点(再掲)、教育美術展(再掲)、市共催の市民ホール指定管理者音楽以外の鑑賞事業

推 進 プ ロ グ ラ ム	指 標	対 象 事 業	
5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実  …26 ページ	(1) 美術・博物・文化財等の分野における地域資源の活用・発信の充実	<b>【指標1.】</b> 市所蔵美術品を活用した事業の来場者数	市所蔵作品展(再掲)
		<b>【指標2.】</b> 文化財の保護、活用及び啓発	博物資料・文化財などを活用した事業、子ども文化財教室等の講座・学習事業
	(2) 地域の課題に応じた取組みの推進	<b>【指標1.】</b> 地域の課題に応じた文化芸術分野の事案件数	世界の庄内音楽ワークショップ・音楽祭(再掲)、ホールでオーケストラ(再掲)
(3) 文化芸術活動に係る環境の充実	<b>【指標1.】</b> 市民ホールの設備満足度	市民ホール指定管理者施設利用アンケート	

## 1. 文化芸術活動を担う人材の育成

### (1) 文化芸術を支える人材の充実

文化芸術のさらなる振興に向け、文化芸術活動を担う人材の充実を図ります。

#### 指標 1. 市民ホール指定管理者へのボランティア（サポートクルー）登録者数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
108.3%	24 人	26 人

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
サポートクルー 養成講座	24 人	26 人	フロントスタッフとして活躍するボランティアを養成する講座を開催。講座終了後には自主事業でチケットもぎりや会場案内などを行っています。	市民ホール 指定管理者

#### 指標 2. レジデントアーティストによるアウトリーチ及び各事業の出演回数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
—	12 回	—

※レジデントアーティストのアウトリーチ及び各事業の出演は、令和元年度から開始。

#### 指標 2 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	概要	実施主体
とよなかアーツ ワゴンの活動	12 回	—	公募アーティストが、アートマネジメントやアウトリーチなど2年間の研修を受け、その後、アーティストバンクに登録して地域活動を行う人材育成制度。	市民ホール 指定管理者
	(レジデントアーティストによるアウトリーチ及び各事業の出演回数)			

### 【備考】

- サポートクルー養成講座は隔年開講で、平成 28 年度と 30 年度に実施し、登録者が 26 人になりましたが、令和元年度現在は 24 人で、今後増える予定はありません。
- とよなかアーツワゴンでは、平成 30 年度にオーディションを実施し、令和元年度から 2 か年度をかけて、3 組のアーティストがアートマネジメントやアウトリーチの技法の研鑽を積みながら、演奏にも出向きます。研修終了後はアーティストバンクに登録して、地域での活動を継続します。

### 【文化芸術振興審議会の意見】

- サポートクルー養成講座により、24 人のボランティアが登録していることは評価できますが、さまざまに異なる意志をもって従事する各ボランティアの意向を尊重するとともに、公演本番やゲネプロへの立ち合いを通じた経験等において成長とやりがいを実感できるような養成に配慮していただきたい。
- とよなかアーツワゴンの活動は、音楽を志す人にも有意義な事業だと思います。アーティストバンク登録後には、研修に携わった講師や、アーティストの情報が公開されると、次期応募者の参考になり、また、当該アーティストへの出演依頼もしやすくなると思います。
- とよなかアーツワゴンの研修後の地域での活動のアイデアや方策については、次期の指定管理者にも課題として引き継いでいただきたい。



## 1. 文化芸術活動を担う人材の育成

### (2) 次代を担う子どもたちを育む

文化芸術を通して、子どもたちの豊かな感性、創造性を育みます。

#### 指標 1. 該当事業の参加者及び来場者数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
71.6%	2,310 人	1,654 人

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
音楽コンクール (応募者)	210 人	209 人	次代を担う人材の発掘と育成をめざして大阪音楽大学と協力して実施。受賞者は記念コンサートにも出演します。	文化芸術課
こども音楽 フェスティバル	600 人	中止	大阪音楽大学との共催事業で、市内で活躍する中学・高校生の吹奏楽部が出演するなど、子どもたちが主役の演奏会。	文化芸術課 学校教育課
こども クラシックの日	1,500 人	1,445 人	市民ホール全館を使用した事業で、演奏体験や作曲体験など、子どもたちが楽しみながら音楽に触れることができます。	市民ホール 指定管理者

#### 指標 2. 該当事業の延べ参加校・園数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
90.3%	62 校・園	56 校・園

※下表「サウンドスクール（小・中学校）」は除く

#### 指標 2 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
豊中市中学生舞 台芸術体験事業 ホールで オーケストラ♪	14 校	12 校	私立を含む市内 21 中学校を対象とし、ホールでの本物のオーケストラ鑑賞の体験によって豊かな感性・創造性を育む事業。	文化芸術課

小学校アウトリーチ事業	新規参加 累計 10 校	新規参加 累計 6 校	プロのアーティストが直接学校に出向き、子どもたちが文化芸術への関心を高められるよう、生演奏の披露や参加型ワークショップなどを行う事業。	市民ホール 指定管理者
サウンドスクール(小・中学校)	増加	43 校	子どもたちが音楽のすばらしさに触れる機会を充実させるとともに、豊かな人間性を育むことを目的に、大阪音楽大学との連携により実施。同大学の学生等が演奏や指導を行います。	学校教育課
サウンドスクール(こども園)	13 園	13 園		こども 事業課
教育美術展	18 校	18 校	市立中学校 18 校全てが参加する事業で、学びの成果を発表することを目的に、生徒たちが美術の授業や部活動等で制作した美術作品等を展示します。	学校教育課
高校生軽音楽フェスティバル	7 校	7 校	服部緑地野外音楽堂で、市内の高校軽音楽部が参加する一大イベント。成果の発表の場になるとともに、高校生たちのコミュニティ形成の場となっています。	魅力創造課

### 【備考】

- こども音楽フェスティバルは、平成 30 年度は台風の影響で中止となりました。
- こどもクラシックの日については、文化芸術センターのエントランスなど共用部も使用し、平成 29 年度に比べて来場者数が大幅に増加しました。
- ホールでオーケストラについては、生徒、教諭の反応も良く、アンケートでも 70.6%が「音楽に関心がなかったが興味がわいた」と回答しました。
- 教育美術展は、18 校から 2,355 点もの作品が集まりました。

### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 音楽コンクールは、参加料が低額なので、応募しやすく、今般のように多数の応募を得ながら音楽コンクールが豊中の文化の一つになるとよいと思います。  
(音楽コンクール参加料:高校の部:3,000 円、大学・一般の部:5,000 円)
- 音楽コンクールに関しては、定員(210 人)相当程度の応募があったことは評価できますが、一方で、成果披露の場である受賞者記念コンサートの鑑賞者数(20 ページ参照:270 人)が低調であることについては、上演方法や集客の工夫などが必要だと感じます。
- 参加者数を伸ばしているこどもクラシックの日については、今後も PR と内容の充実に努めてほしいと思います。
- ホールでオーケストラは子どもたちの感性を育むよい取り組みですので、今後も教育委員会と連携を図りながら、参加校を増やしてほしいと思います。

- サウンドスクールは 10 年以上も続く事業で、大阪音楽大学の学生等が演奏や子どもたちの指導を行なうという豊中ならではの事業で、子どもたちはもとより、音大生のためにもなるものと思います。
- 小学生から高校生を対象とする大型イベントや、音大生の活躍の場もあることはすばらしい。
- 次代を担う子どもたちを育む事業は、着実に成果をあげていると思われます。今後も継続をお願いします。

### 【参考事業】

事業名	単位	H30 年度 実績値	内容	実施主体
サマープラス フェスティバル	参加校数	18 校	サウンドスクール事業で大阪音楽大学より指導支援を受けた市立中学校吹奏楽部が、成果を発表する演奏会。	学校教育課
小学校連合音楽 会・中学校音楽 研究演奏会	参加校数	24 校	児童・生徒らが合唱や器楽合奏、吹奏楽等の演奏を行うとともに、相互に鑑賞し、音楽と触れ合う事業。	学校教育課
各公民館 自主事業 (子育て・子育て)	事業回数	39 回	各公民館(4 館)が実施する文化芸術分野の事業で、次代を担う子どもたちを育むもの。	各公民館
	来場者数	1,156 人		

## 2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進

### (1) 文化芸術活動への支援

市民団体等による文化芸術活動への支援の充実を図ります。

#### 指標 1. 文化芸術活動報奨金の支給団体・個人の件数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
35%	20 件	7 件

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	概要	実施主体
文化芸術活動 報奨金制度	20 件	7 件	市民の自主的な文化芸術活動を顕彰することで一層の文化芸術振興を図ることを目的に、全国大会等に参加するなど顕著な成果を収めた個人や団体に報奨金を支給する制度。	文化芸術課

#### 指標 2. 文化芸術振興助成金の予算に対する交付決定割合

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
—	100%	—

※令和元年度より制度がスタート

#### 指標 2 の事業概要

事業名	目標値 (H32 年度)	H30 年度 実績値	概要	実施主体
文化芸術振興 助成金制度	100%	—	市内で行われる文化芸術事業を支援するため、子どもが文化芸術に親しむ機会の充実を図る事業や、文化芸術の力を活かして地域課題の解決をめざす事業に対して助成を行います。	文化芸術課

### 【備考】

○文化芸術活動報奨金制度は、平成 30 年 9 月にスタートしました。

### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 文化芸術活動への報奨金は悪くないと思いますが、活動に直接関係する顕彰の仕方もあるのではないかと考えられます。単なるバラマキでは、行政の自己満足につながる可能性もあります。その活動内容に即した顕彰制度を探求することも必要ではないでしょうか。
- 文化芸術振興助成金の支給対象として採択された事業は意義深いものと目されるので、掲載している市ホームページのほか、市広報誌などにも載せるなどしてより広く市民に伝え、市民からも評価されることが大切であると感じます。
- 文化芸術振興助成金制度については、助成金を支給するだけでなく、モニタリングなどで事業成果を確認するとともに、団体等同士の間につながりがもてるような取組みが必要です。

### 【参考事業】

事業名	単位	H30 年度 実績値	内容	実施主体
文化芸術 振興基金	市民からの 寄附件数	16 件	継続的かつ安定的に、文化芸術の振興に向けた取組を推進するために平成 30 年 1 月に設置。広く寄附を募るとともに、人材育成や地域課題の解決に資する事業に活用します。	文化芸術課

※事業者からの寄附件数は、14 ページ参照。

## 2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進

### (2) 大学等との連携の推進

引き続き、市内の大学、オーケストラ等と連携を図り、さまざまな分野における文化芸術事業を展開します。

#### 指標 1. 大学や市民団体等との連携の事業数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
86.7%	15 事業	13 事業

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
市文化芸術祭	1 事業	1 事業	文化芸術活動の発表や鑑賞機会の充実を図るとともに、参加者同士の交流を深めるため、市文化芸術連盟との共催で開催。	文化芸術課
市美術展	1 事業	1 事業	市美術協会と実行委員会を組織して開催。美術作品を公募し、制作の励みとなる審査を通過した優れた作品の展示を通じて、芸術作品の創造と鑑賞の機会を創出します。	文化芸術課
豊中まちなかクラシック	1 事業	1 事業	日本センチュリー交響楽団との共催により、市内の寺院や教会などの歴史的建造物を会場に、多彩なアンサンブルをまちなかで楽しむクラシックコンサート。	文化芸術課
大阪大学総合学術博物館企画展	1 事業	1 事業	大阪大学総合学術博物館との共催事業で、毎年、ロボットや科学、美術などテーマを変えながら、展示やシンポジウム、ワークショップなどを行っています。	文化芸術課
大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画事業	1 事業	1 事業	大阪大学、大阪音楽大学と協力し、それぞれの得意分野を活かした企画。過去には「月」や「からだ」をテーマに、演奏家が感じた音を届けるコンサートなどを実施しました。	文化芸術課
伝統芸能館まつり	1 事業	1 事業	郷土芸能や和太鼓、日本舞踊など、伝統芸能館を拠点に活動する 10 団体が多彩な演目を披露。身近に伝統芸能に触れることができる機会を創出します。	文化芸術課

世界の楽器と音楽	1事業	1事業	大阪音楽大学との連携による、日本の伝統楽器や世界の楽器の演奏と解説。箏や三味線の他、インドの古典音楽・シタール演奏など、毎年異なる楽器が楽しめます。	文化芸術課
世界のしょうない音楽ワークショップ、音楽祭	1事業	1事業	日本センチュリー交響楽団、大阪音楽大学、しょうないREKとの連携事業。音楽ワークショップを重ねた後、音楽祭では皆で制作した作品の演奏を披露します。	文化芸術課
音楽コンクール	1事業	1事業	(再掲：文化芸術課)	
こども音楽フェスティバル	1事業	1事業	(再掲：文化芸術課・学校教育課)	
サウンドスクール(小・中学校)	1事業	1事業	(再掲：学校教育課)	
サウンドスクール(こども園)	1事業	1事業	(再掲：こども事業課)	
こどもクラシックの日	1事業	1事業	(再掲：市民ホール指定管理者)	

### 【備考】

○上記のようなさまざまな市民や大学・団体との協働による事業運営が評価され、平成27年度には、大阪府内で初となる「文化芸術創造都市部門」における文化庁長官表彰を受賞しました。

### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 大学等との多彩な連携事業の継続を通じて、多くの市民が芸術に触れられることはすばらしい。
- 順調に成果が挙がっていると思います。ぜひ今後も大学等との連携を推進いただき、連携先ならではの取組みがもっと出てくるとよいと思われま。

### 【参考事業】

事業名	単位	H30年度実績値	内容	実施主体
各公民館 自主事業 (大学等連携を含む)	事業回数	70回	文化芸術分野における各公民館(4館)自主事業(地域魅力発信・地域連携事業、グループ体験学習会)。	各公民館
	来場者数	1,840人		

## 2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進

### (3) 企業等との連携の推進

文化芸術の振興に向け、企業、事業者等との多様な連携を図ります。

#### 指標 1. 事業者からの寄附件数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
40%	10 件	4 件

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
文化芸術 振興基金	10 件	4 件	継続的かつ安定的に、文化芸術の振興に向けた取組を推進するために平成 30 年 1 月に設置。広く寄附を募るとともに、人材育成や地域課題の解決に資する事業に活用します。	文化芸術課
	事業者からの寄附件数			

※市民からの寄附件数は、11 ページ参照。

#### 【備考】

○平成 30 年度は、文化芸術活動報奨金制度やホールでオーケストラ事業などに基金を活用しました。

#### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 平成 29 年 9 月の答申において、基金の文化芸術の振興にかかる活用のために言及した報奨金制度や中学生の体験コンサートなどに着実に取り組まれています。今後も人材育成事業等に活用するとともに、基金原資を安定的に継続して獲得し、より有効に活用いただきたいと思います。
- まだ伸びしろはあると思われます。寄附文化への一般的な理解の醸成も同時に必要かと思えます。



## 2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進

### (4) 都市間の連携の推進

文化芸術の創造性を以て地域課題の解決に取り組む自治体として文化庁が位置付ける「文化芸術創造都市」をはじめ、大阪国際空港就航都市や他の自治体との連携の充実を図り、さまざまな取組みの展開につなげます。

#### 指標 1. 連携事業を行っている自治体数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
88.9%	9 都市	8 都市

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
就航都市 文化交流事業	3 都市	2 都市	大阪国際空港と就航路線でつながっている空港の所在都市との文化交流事業。	文化芸術課 空港課
豊中まつり	6 都市	6 都市	豊島公園を会場に、人と文化がふれあうまつりをテーマに、市民がつくる市民のまつり。毎年約 15 万人もの人が訪れ、1,000 人以上のボランティアがまつりを盛り立てます。	文化芸術課

#### 【備考】

- 就航都市文化交流事業では、長野県松本市とセイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコンサートを開催。また、島根県益田市との協力で石見（いわみ）神楽の舞を上演しました。
- 豊中まつりには、兄弟都市の沖縄市と、4つの就航都市（福島県須賀川市、福島県玉川村、長野県松本市、島根県隠岐の島町）などが参加しました。

#### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 豊中市がセイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコンサートの開催地であることは誇らしく、また、豊中市も連携都市のイベント等への参加で活躍いただきたい。
- 今後、文化芸術創造都市との事業連携にも期待するところです。

○都市間連携はもう少し目標値を上げてよいのではないのでしょうか。1都市の取り組みがその都市だけで完結するのは経済的にもよくないし、異なる文化を持つ他都市との交流をより推進することが望ましい。今後の進捗管理の参考としていただきたい。

### 【参考事業】

事業名	単位	H30 年度 実績値	内容	実施主体
兄弟都市・ 沖縄市交流	訪問回数	2 回	昭和 49 年 11 月に兄弟都市となり、その後、豊中まつりをはじめ、沖縄市で行われる音楽イベントや産業まつりなどで交流を図っています。	魅力創造課
姉妹都市・サン マテオ市交流	交流事業 件数	3 件	昭和 38 年に姉妹都市提携を結び、以降、市が主催する英語弁論大会の上位入賞者を派遣するなど、交流を続けています。	魅力創造課

### 3. 音楽あふれるまちづくりの推進

#### (1) 音楽事業の一層の推進

音楽事業の多彩な展開等、音楽あふれるまちづくりをさらに進めます。

#### 指標 1. 来場者数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
67.8%	8,820 人	5,981 人

※下表中サウンドスクールは除く

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
音楽コンクール (応募者)	300 人	209 人	(再掲：文化芸術課)	
こども音楽 フェスティバル	600 人	—	(再掲：文化芸術課)	
豊中まちなか クラシック	900 人	859 人	(再掲：文化芸術課)	
豊中市中学生舞 台芸術体験事業 ホールで オーケストラ♪	1,900 人	1,656 人	(再掲：文化芸術課)	
市文化芸術祭	1,200 人	1,005 人	(再掲：文化芸術課)	
世界のしょうな い音楽ワークシ ョップ、音楽祭	700 人	637 人	(再掲：文化芸術課)	
セイジ・オザワ 松本フェスティ バル・スクリー ンコンサート	400 人	341 人	世界的指揮者・小澤征爾さんが総監督を務める音楽フェスティバルの生中継コンサート。開催地は、長野県松本市と交流のある都市だけで、府内では豊中市のみで開催。	文化芸術課
邦楽鑑賞会	120 人	100 人	広く市民に邦楽の素晴らしさに触れてもらうことを目的に開催するもので、地域の小学校とも連携し、子どもたちが箏演奏を披露することもあります。	文化芸術課

大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画事業	300人	215人	(再掲：文化芸術課)	
高校生軽音楽フェスティバル	1,200人	959人	(再掲：魅力創造課)	
サウンドスクール(小・中学校)	—	—	(再掲：学校教育課)	
サウンドスクール(こども園)	—	—	(再掲：こども事業課)	
豊中市民第九演奏会	1,200人	—	指定管理者が市との共催で実施。市民合唱団が、大阪音楽大学教員のソリストとともに日本センチュリー交響楽団と共演。	文化芸術課 市民ホール 指定管理者

### 【備考】

- こども音楽フェスティバルは、平成30年度は台風の影響で中止となりました。
- 豊中市民第九演奏会については、平成30年度には実施されませんでした。令和元年度には開催を予定しています。
- 会場の定員の制限により、来場者数を増やすのが困難なものが増えています。

### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 指標達成率向上のためのPR方法が課題となる一方で、上演に最適な会場として特定のホール等が開催場所として決められている事業では、そのホール等の収容人数の制限のために来場者数を増やせないという実態にもさらなる検討が必要かと思えます。
- 音楽あふれるまち豊中を標榜しているわけなので、固定的な会場にのみ限定的に考えるのではなく、音楽についての文化事業などを一層企画することと、もっと市民レベルで日常的な音楽活動を支援する枠組みがあってもよいのではないのでしょうか。

### 【参考事業】

#### ■音楽月間事業一覧

事業名	来場者数	実施主体
秋の火災予防運動事前広報コンサート	100人	消防局予防課
大阪国際空港音楽フェスティバル2018	4,944人	空港課
第16回いきいき長寿フェア	539人	高齢施策課
クラシック「CD音楽鑑賞会」	25人	都市計画課

団塊世代の居場所づくり「アコースティックオープンステージ」	35人	都市計画課
うたごえ喫茶いこい	63人	人権政策課
まちづくりコンサート	100人	人権政策課
第12回どこボラミュージックカフェ	160人	コミュニティ政策課
暮らしに役立つうたごえサロン	40人	コミュニティ政策課
蛍池アフタヌーンジャズコンサート	11人	コミュニティ政策課
合唱・コーラス・みんなで奏でるハーモニー（図書やCDの展示）	—	読書振興課
音楽に関する資料・本の展示（本・CDを中心に）	—	読書振興課
音楽を楽しむ絵本	—	読書振興課
ようこそ夢の舞台へ	—	読書振興課
高川図書館 レコード展	—	読書振興課
本でたどる音楽の世界（図書展示）	—	読書振興課
大阪音楽大学開放講座 音楽・心の旅 ①・②	69人	中央公民館
豊中市合唱祭	2,000人	中央公民館
豊中市青少年吹奏楽団 第50回記念定期演奏会	728人	中央公民館
ランチタイム ロビーコンサート	100人	中央公民館
【とよなか クリエイティブ・ガーデン】 ～まちの今と昔が音でつながる～心に響く 庭めぐり 音あそび	48人	魅力創造課
高校生軽音楽フェスティバル（再掲）	959人	魅力創造課
豊中駅前バル「おと♪なか」	2,500人	魅力創造課
庄内バル「音バル」	1,450人	魅力創造課
第7回みんなでわいわい3（さん）あいイベント	3,000人	魅力創造課
ギタースナップスフェスティバル2018	657人	魅力創造課
庄内つくるオンガク祭ワークショップ	66人	魅力創造課
素のままフェスタ2018	397人	障害福祉課
講演会&車いすダンスパフォーマンス 夢と元気を届けたい	400人	障害福祉課
第10回大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画 （再掲／音楽月間期間後の実施）	215人	文化芸術課
交響楽団ひびき オータムコンサート	523人	文化芸術課
北部の宴	7,000人	文化芸術課
オオサカン 秋の音楽会～響け！すいそうがく♪～	2,000人	文化芸術課
第16回豊中市文化芸術祭（再掲）	1,005人	文化芸術課
リコーダーの響き～18世紀の作品を集めて～	40人	文化芸術課
邦楽鑑賞会—子どもたちと奏でる三曲演奏会—（再掲）	100人	文化芸術課

市民ロビー ゆうゆうコンサート	77人	文化芸術課
第8回こども音楽フェスティバル (再掲)	中止	文化芸術課
第4回 豊中音楽コンクール受賞者記念コンサート	270人	文化芸術課
豊中まちなかクラシック 2018 (再掲)	859人	文化芸術課
NEO CLASSIC in TOYONAKA	485人	市民ホール 指定管理者
ヤノシュ・オレイニチャク ピアノリサイタル	702人	市民ホール 指定管理者
アンドレアス・オッテンザマー、郷古廉、ホセ・ガヤルド トリオ	475人	市民ホール 指定管理者
第58回 ミレニアム・スチューデントコンサート	489人	大阪音楽大学
クラシック・ジャム・カルテット コンサート	164人	大阪音楽大学
まちなかミュージカル DAION 座コンサート	145人	大阪音楽大学
第54回オペラ公演「テレフォン」「泥棒とオールドミス」	1,016人	大阪音楽大学
第30回 ザ・コンチェルト・コンサート	385人	大阪音楽大学
Daion 吹奏楽フェスティバル 2018～吹奏楽の饗宴～	539人	大阪音楽大学
第59回ミレニアム・スチューデントコンサート	572人	大阪音楽大学
大阪音楽大学 大学院定期演奏会 2018	148人	大阪音楽大学
<b>総計</b>		<b>35,385人</b>

※第10回大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画については、音楽月間期間終了後の実施となったため、音楽月間事業の来場者総計には含めず。

## ■市民ホール指定管理者 音楽鑑賞事業一覧

事業名	来場者数
豊中オーケストラフェスタセット券購入者限定プレミアムコンサート	104人
センチュリーリサイタルシリーズ Vol.5 吉岡奏絵クラリネットリサイタル	138人
豊中オーケストラフェスタ デュメイ&関西フィルハーモニー管弦楽団豊中特別演奏会	694人
日本センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.6	570人
キングズ・シンガーズ GOLD	751人
山形交響楽団さくらんぼコンサート 2018 大阪公演	1,160人
日本センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.7	807人
日本センチュリー夏休みポップスコンサート	667人
日本センチュリーリサイタルシリーズ Vol.6 北口大輔チェロリサイタル2	181人
にほんのうた Vol.3	305人
日本センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.8	507人
NEO CLASSIC in TOYONAKA (再掲)	485人

ヤノシュ・オレイニチャク ピアノリサイタル (再掲)	702 人
アンドレアス・オッテンザマー、郷古廉、ホセ・ガヤルド トリオ (再掲)	475 人
日本センチュリーリサイタルシリーズ Vol.7 巖崎友美ヴァイオリンリサイタル2	130 人
岩崎宏美 with 日本センチュリー交響楽団	1,244 人
日本センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.9	466 人
セルゲイ・カスプロフ ピアノリサイタル	319 人
TRANCE MUSIC FESTIVAL 2019 (3 公演)	181 人
にほんのうた Vol.4	186 人
Makihara Noriyuki Concert 2018 “TIME TRAVELING TOUR” 1st Season	1,265 人
シネマ・ミュージック with サラ・オレイン	1,107 人
玉置浩二 ライブツアー	1,263 人
TOYONAKA LIVE SQUARE Vol.3	1,134 人
ヨーナス・ハーヴィスト・トリオ ジャパンツアー2018	155 人
CENTURY JAZZ NIGHT Vol.3	179 人
World JAZZ Warehouse presented by FM COCOLO	420 人
ベネッセ English Concert for Kids (Summer 全3回、Winter 全3回)	6,696 人
コインロッカー・ベイビーズ 全4回	4,587 人
刀剣乱舞 加州清光 単騎 LIVE 全6回	7,838 人
<b>総計</b>	<b>34,716 人</b>

## 4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

### (1) 他分野と連携したさまざまな課題への取組みの推進

文化芸術のもつ力を活かし、教育や福祉等の他分野との連携を図りながら、社会的包摂、地域活性化等のさまざまな課題への取組みを進めます。

#### 指標 1. 教育や福祉等の分野と連携した社会的包摂や地域活性化等の事業数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
57.1%	7 事業	4 事業

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
きむらとしろう じんじん野点 (のだて)	1 事業	1 事業	美術家・きむらとしろうじんじんさんが、リヤカーに陶芸道具一式と、抹茶セット一式を積み、まちのさまざまな場所で参加者が茶碗を制作する陶芸屋台。自分で焼いた茶碗で野点を楽しむことができます。	魅力創造課
豊中市中学生舞 台芸術体験事業 ホールで オーケストラ♪	1 事業	1 事業	(再掲：文化芸術課)	
世界のしょうな い音楽ワークシ ョップ、音楽祭	1 事業	1 事業	(再掲：文化芸術課)	
文化芸術振興 助成金制度	1 事業	—	(再掲：文化芸術課)	
小学校アウト リーチ事業	1 事業	1 事業	(再掲：市民ホール指定管理者)	

#### 【備考】

- 野点は、平成 30 年度は服部天神駅界隈で計 2 回実施。合計 737 人の参加がありました。
- 令和元年度からスタートの文化芸術振興助成金は、市内で行われる「子どもが文



化芸術に親しむ機会の充実を図る事業」、「文化芸術の力を活かした地域課題の解決をめざす事業」を支援するものです。

### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 社会的包摂は進めるべきと思いますが、他分野との連携は今後一層検討するべきだと思います。SDGs（持続可能な開発目標）などへの対応も求められている昨今ですので、文化・芸術にできることはもっと多様にあるはずです。大学などとの連携を通じて今後も検討していただければと思います。
- 市民の文化芸術に対する意識を高めるためにも、文化芸術が地域課題の解決に寄与すること、また、その成果がより市民に伝わるとよいと思います。
- 文化芸術の力を活かした社会的包摂や地域課題の解決を図る事業の価値を測る指標の設定は困難ですが、アンケート等での定性的な評価も併せて行っていただきたいと思います。
- 定性的な評価については、本節に限らず、推進プログラム全体の課題として、来場者や出演者など当該事業への参加者による満足度等だけではなく、事業自体の質的な評価についても、測定は容易ではありませんが、留意が必要です。

### 【参考事業】

事業名	単位	H30 年度 実績値	内容	実施主体
素のまま フェスタ (再掲)	参加者及び 来場者数	397 人	障害者の社会参加の領域を広げ、深めるため、障害のある人たちの表現活動をサポートする事業で、和太鼓やダンス等が披露されます。	障害福祉課
高校生 ダンスフェスタ	出演者数	484 人	出演のみならず、高校生たちが企画や運営なども行う事業。制作過程で関わり合う中で、自身の成長につながります。	青年の家 いぶき
	来場者数	961 人		
各公民館 自主事業 (課題別講座)	事業回数	12 回	文化芸術分野における各公民館（4 館）自主事業（環境学習事業、健康づくり推進事業、人権啓発事業）。	各公民館
	来場者数	437 人		

## 4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

### (2) 音楽以外の基軸の確立

音楽あふれるまちづくりに加えて基軸となる施策の推進に向け取組みを進めます。

#### 指標 1. 音楽以外の文化芸術分野における事業数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
80.0%	10 事業	8 事業

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
市所蔵作品展	1 事業	1 事業	市の所蔵作品を活用して、展示やワークショップを行う事業。	文化芸術課
市民ギャラリー 特別企画展	1 事業	1 事業	さまざまなテーマで、絵画や写真等の作品 展示やワークショップを行ないます。	文化芸術課
市文化芸術祭	1 事業	1 事業	(再掲：文化芸術課)	
市美術展	1 事業	1 事業	(再掲：文化芸術課)	
大阪大学 総合学術博物館 企画展	1 事業	1 事業	(再掲：文化芸術課)	
伝統芸能館 まつり	1 事業	1 事業	(再掲：文化芸術課)	
きむらとしろう じんじん野点	1 事業	1 事業	(再掲：魅力創造課)	
教育美術展	1 事業	1 事業	(再掲：学校教育課)	

#### 【備考】

- 市所蔵作品展については、平成 30 年度は子どもたちを対象に、京都造形芸術大学の協力のもと、「見る・考える・話す・聴く」の 4 つを大切にした対話型鑑賞プログラムを実施しました。
- 市民ギャラリー企画展について、平成 30 年度は切り絵展を実施。市内の小学校教育等で実施したワークショップの作品を集合体として構成するアート制作を行いました。

### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 市所蔵作品展や市民ギャラリー企画展では、大学や小学校などと連携して市民とともに実施するという大切な視点での取組みがユニークで、美術分野の展開で今後も取り組んでいただきたいと思います。
- 美術に触れる機会があまりない子どもでも、ワークショップを通じてアートに接近しやすくなるものと思います。
- 音楽以外の文化芸術の確立は急務であり、音楽はいわゆる言葉を持たないので、社会への関与が間接的になりがちです。既述の現代社会との応答には、音楽だけでなく、言葉を使う文化・芸術とのバランスが必要と思われます。

### 【参考事業】

#### ■市民ホール指定管理者 音楽以外の鑑賞事業一覧（市の共催ではないもの）

事業名	来場者数
マリア・パヘス&ラルビ・シェルカウイ DUNAS	1,000人
ドラマティック 能 人間国宝・大槻文藏、豊中に舞う	422人
桂米朝一門会	460人
春風亭昇太独演会	466人
とよキネマ4月「LA LA LAND」	421人
とよキネマ5月「人生フルーツ」	433人
とよキネマ6月「アフタースクール」	284人
とよキネマ7月「天才スピヴェット」	227人
とよキネマ8月「パディントン」	312人
とよキネマ9月「小さいうち」	357人
とよキネマ10月「別れの曲」	341人
とよキネマ11月「ギフト」	258人
とよキネマ12月「東京ゴッドファーザーズ」	131人
とよキネマ1月「ディア・ドクター」	350人
とよキネマ2月「メッセージ」	164人
とよキネマ3月「母と暮せば」	404人
MBS アナウンサー コトハ ものがたりの世界 2019 全2回	2,600人
総計	8,630人

## 5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実

### (1) 美術・博物・文化財等の分野における地域資源の活用・発信の充実

市が所蔵する美術品をはじめ、教育分野と連携した博物資料・文化財の企画展等により、地域資源の活用と発信の充実を図ります。

#### 指標 1. 市所蔵美術品を活用した事業の来場者数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
97.1%	5,000 人	4,853 人

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
市所蔵作品展	5,000 人	4,853 人	(再掲：文化芸術課)	

#### 指標 2. 文化財の保護、活用及び啓発

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
89%	100 回	89 回

#### 指標 2 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
博物資料・文化財などを活用した事業	90 回	81 回	博物資料・文化財の展示をはじめ、市内の各学校や施設と連携して実施する出前講座や、史跡散策、原田城跡・旧羽室家住宅の公開などを行っています。	生涯学習課
子ども文化財教室等の講座・学習事業	10 回	8 回	子ども文化財教室には、市内で出土した旧石器時代から江戸時代までの資料約 150 点を展示しており、各種講座や学習事業等も開催しています。	生涯学習課

### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 市所蔵作品展に 5,000 人近く来場したことは評価でき、今後も魅力ある企画を期待します。
- 成果は挙げられていますが、地域資源をただ活用するというだけでなく、その地域資源についての深い研究や知識があって初めて現代に再生できると思われます。これもまた、大学などとの連携をうまく活用すべきだと思います。
- 国の方向性としても、文化財の保存ばかりにとどまることのない活用に期待が寄せられています。今後も幅広い活用を工夫いただきたいと思います。

### 【参考事業】

事業名	単位	H30 年度 実績値	内容	実施主体
市所蔵作品の 活用点数	活用点数	95 点	市所蔵作品展の他、他事業での活用、市の施設での展示等を行い、有効活用を図っています。	文化芸術課
登録文化財	件数	累計 41 件	大阪大学の共通教育本館・待兼山修学館（待兼山町）、旧羽室家住宅（曾根西町）、奥野家住宅（中桜塚）などが登録されています。	生涯学習課
指定文化財	件数	累計 86 件	国指定の原田神社本殿、府指定の旧新田小学校校舎、市指定の伊藤若冲筆「山水図」等があります。	生涯学習課

## 5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実

### (2) 地域の課題に応じた取組の推進

市内各地域の課題等に応じた文化芸術振興の取組みを進めます。

#### 指標 1. 地域の課題に応じた文化芸術分野の事業件数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
50%	4 事業	2 事業

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
世界のしょうない音楽ワークショップ、音楽祭	1 事業	1 事業	(再掲：文化芸術課)	
豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールで オーケストラ♪	1 事業	1 事業	(再掲：文化芸術課)	

#### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 地域課題の解決に関わる音楽事業は興味深く、そのノウハウを地域で小規模に活動している事業者も知ることができるとよいと思います。
- 総合計画のリーディングプロジェクトに位置付けられる市南部での事業展開をはじめ、地域の課題に応じた取組みの推進に期待します。
- 豊中の地域課題が何か、明確にして取り組むべきかと思われれます。市南部が課題化されているのは理解できますが、どうなればよいのか、単に開発型の成果が求められているのではないはずです。内容の検討も合わせて行うとか、その段階から取組み化するなどの工夫が必要かと思えます。

## 5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実

### (3) 文化芸術活動に係る環境の充実

文化施設の設備更新等の文化芸術活動に係る環境の充実を図ります。

#### 指標 1. 市民ホールの設備満足度

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (H30 年度)
96.9%	80%	77.5%

#### 指標 1 の事業概要

事業名	目標値 (R2 年度)	H30 年度 実績値	内容	実施主体
市民ホール指定 管理者施設利用 アンケート	80%	77.5%	アンケートのうち、ホール内設備の項目について、「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」のうち、「満足」と「やや満足」の回答の集計の比率。文化芸術センターが 82.8%、ローズ文化ホールが 72.2% で、平均値を実績値としています。	市民ホール 指定管理者

#### 【文化芸術振興審議会の意見】

- 実績もまずまずで、今後も継続いただきたいと思います。
- 限られた予算の中で、計画どおりに改修していくことは難しいと思いますが、安心・安全の部分は確実に行っていただきたいと思います。

#### 【参考事業】

##### 各施設の利用状況等

施設名	来場者数	利用率	内容	実施主体
文化芸術センター	484,907 人	90.3%	大ホールが 86.4%、中ホールが 85.4%、小ホールが 99% で、それらの平均値。	市民ホール 指定管理者
ローズ文化ホール	45,898 人	79.8%		市民ホール 指定管理者
伝統芸能館	10,619 人	85.3%		文化芸術課
市民ギャラリー	26,098 人	98%		文化芸術課